

発刊に当たって

JAいわみざわ管内の農業は、近年、農業従事者の高齢化が進み、後継者不足から農家戸数が急激に減少しており、一方、土地の集積が進んで、一戸当たり経営規模の拡大が進展し、農業構造が大きく変化しつつあります。

こうした中で、水稻の栽培面積確保において、適期作業・労働力の面から、営農に支障を来す現象が見られます。

このため、春作業の軽減・労働配分の効率化(野菜の導入等)、コストの低減、ハウスの有効利用のほか、田畑輪換の確立等多くの可能性を有する技術として、「水稻直まき栽培」が注目されているところであります。

水田を基幹として発展する当地域に有効な技術として定着させるために、多くの課題を克服する必要がありますが、地域で組織化して、機械の有効活用・栽培技術の確立に向け、仲間と共に取り組んでいただきたく、ここに空知農業改良普及センターのご協力により、「直まき10俵どり指南書」を作成いたしました。

すでに「直まき」に取り組んでいる経験者、これから挑戦しようとする方などの指針として、ご活用いただけたら幸甚に存じます。



JAいわみざわ農業振興センター
会長 日村 殉
(JAいわみざわ常務理事)



水稻直播のすすめ

水稻では移植栽培が大勢を極める中であって、直播栽培には幾つかの注目されるべき利点があります。一方、直播には技術的に未解決の部分もありますが、将来の経営面積の拡大を見据えたとき、直播栽培の大きな利点である省力化は、経営展開における有力な手法の一つになり得ます。

また水稻直播を題材として、農家間そして地域間で情報交換をすることは、イネの作物生理を踏まえた作業の質の向上に結びつきます。この栽培技術を高める感性・眼力は、イネの移植栽培はもとより他の作物栽培にも応用が利くものと存じます。

結びに、水稻直播にこれからも取り組もうとする方々の進取の英気に敬意を申し上げ、直播栽培への取り組みが経営発展の一つの礎とされることを祈念しております。



空知農業改良普及センター
所長 広瀬 勉



Contents

確認しておこう！ 導入の効果

直播栽培の今昔!(古くて新しい技術)	1
いわみざわ地域は「大地の星」で!	2
なぜ直播栽培が必要なのか	3
直播のメリットとデメリット	4~5
直播栽培の導入による経営改善の効果	6

栽培技術のポイント

ほ場準備	7
施肥(基肥・側条・追肥)	8
播種の準備	9
播種精度を高めるコツ(湛水直播)	10
苗立確保のポイントと水管理(湛水直播)	11~14
播種精度を高めるコツ(乾田直播)	15~16
苗立確保のポイントと水管理(乾田直播)	17~18
雑草対策	19
収穫までの栽培管理	20

水稻直播栽培の1年

直播栽培暦	21~22
-------	-------

平成20年の収量

収量調査の結果から	23
-----------	----

直播に期待!

技の匠から	24~25
意気込み(近年の取り組み地区の代表者からの一言)	26

応援します! 直播栽培

話題の出来事	27
--------	----

制作の裏側

編集後記	28
------	----



古原



平石



白石



江戸



齊藤

私たちが水稻直播栽培の、魅力をお伝えします!!